



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月30日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL https://www.cyberagent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 四半期報告書提出予定日 2019年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	110,855	13.2	5,346	△35.2	5,165	△33.7	916	△61.2
2018年9月期第1四半期	97,914	13.1	8,246	29.8	7,792	31.4	2,361	78.1

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 △725百万円(-%) 2018年9月期第1四半期 4,773百万円(53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	7.28	6.76
2018年9月期第1四半期	18.77	18.67

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定の基礎となる四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	214,459	104,208	35.6
2018年9月期	225,484	109,250	36.2

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 76,434百万円 2018年9月期 81,556百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	440,000	4.9	20,000	△33.7	19,000	△33.5	2,000	△58.8	15.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「1株当たり当期純利益」の算定の基礎となる当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社ゼルビア、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	126,426,600株	2018年9月期	126,426,600株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	492,342株	2018年9月期	587,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	125,904,736株	2018年9月期1Q	125,793,983株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2018年のスマートフォンを中心としたインターネット広告市場は、前年比11.5%増の15,369億円(注1)と順調な成長が見込まれております。特に動画広告市場の急成長が予想され、2019年は前年比25.4%増の2,312億円に拡大し、2024年には4,957億円に達すると予測されております(注2)。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、前期に引き続き「AbemaTV」への投資期と位置付けていることから、当第1四半期連結累計期間における売上高は110,855百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益は5,346百万円(前年同期比35.2%減)、経常利益は5,165百万円(前年同期比33.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は916百万円(前年同期比61.2%減)となりました。

出所 (注1) 矢野経済研究所「インターネット広告市場に関する調査を実施(2018年)」

(注2) 当社/デジタルインファクト「国内動画広告の市場動向調査」

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「AbemaTV」、「Ameba」、「タッブル誕生」等が属しております。

前期に引き続き、「AbemaTV」への投資期でありつつも、売上を伸ばし、売上高は9,528百万円(前年同期比29.0%増)、営業損益は4,991百万円の損失計上(前年同期3,298百万円の損失計上)となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)Craft Egg等が属しております。

新規タイトルを中心に広告宣伝を積極的に展開し、売上高は36,363百万円(前年同期比7.8%増)、営業損益は3,193百万円の利益計上(前年同期比43.4%減)となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

スマートフォン向け広告の順調な販売等により、売上高は62,840百万円(前年同期比9.7%増)、営業損益は4,543百万円の利益計上(前年同期比17.1%減)となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタル(2019年1月(株)サイバーエージェント・ベンチャーズから社名変更)におけるファンド運営等が属しており、売上高は3,895百万円(前年同期比366.6%増)、営業損益は3,396百万円の利益計上(前年同期比565.5%増)となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)シーエー・モバイル、(株)ウエディングパーク等が属しており、売上高は4,583百万円(前年同期比13.3%増)、営業損益は27百万円の利益計上(前年同期比94.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は214,459百万円(前連結会計年度比11,025百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等及び配当金の支払等に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は110,250百万円(前連結会計年度比5,983百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は104,208百万円(前連結会計年度比5,041百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、広告事業とゲーム事業等で利益を積み上げ、中長期の柱にすべくメディア事業に投資をしています。

2018年10月25日に公表した業績予想は、ゲーム事業における新規タイトルの初速の好調さを確認し、見通しを公表いたしました。現時点において想定を下回る実績のため連結売上高を前期比4.9%増の4,400億円に修正いたしました。また、連結売上高の修正に伴い広告事業やゲーム事業等の既存事業※の営業利益予想を期初に想定した500億円から20%減の400億円に、「AbemaTV」等の先行投資事業は、拡大期と位置づけ期初の想定通り営業損失200億円とし、連結営業利益は前期比33.7%減の200億円に修正いたします。それに伴い、経常利益および親会社に帰属する当期純利益についてもそれぞれ前回予想を下回る見通しです。

※既存事業：広告事業、ゲーム事業、メディア事業の「Ameba」「ダブル誕生」、投資育成事業等

※※親会社に帰属する当期純利益：先行投資事業の(株)AbemaTVが連結納税対象外であること、(株)Cygamesの非支配株主持分による影響があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,381	80,724
受取手形及び売掛金	49,994	50,228
たな卸資産	750	1,071
営業投資有価証券	14,816	12,808
その他	12,712	13,975
貸倒引当金	△243	△235
流動資産合計	170,411	158,572
固定資産		
有形固定資産	10,450	10,481
無形固定資産		
のれん	1,578	1,904
その他	27,000	28,045
無形固定資産合計	28,579	29,950
投資その他の資産		
その他	16,008	15,423
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,991	15,406
固定資産合計	55,021	55,837
繰延資産	51	48
資産合計	225,484	214,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,340	37,175
短期借入金	900	900
未払法人税等	7,069	1,876
資産除去債務	—	443
その他	26,139	26,732
流動負債合計	72,449	67,128
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,637	40,611
長期借入金	91	143
勤続慰労引当金	1,247	1,316
資産除去債務	1,386	959
その他	420	89
固定負債合計	43,784	43,122
負債合計	116,234	110,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	5,758	6,062
利益剰余金	63,789	60,383
自己株式	△622	△521
株主資本合計	76,129	73,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,191	3,111
為替換算調整勘定	235	194
その他の包括利益累計額合計	5,427	3,306
新株予約権	988	813
非支配株主持分	26,705	26,959
純資産合計	109,250	104,208
負債純資産合計	225,484	214,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	97,914	110,855
売上原価	66,470	76,572
売上総利益	31,443	34,283
販売費及び一般管理費	23,197	28,936
営業利益	8,246	5,346
営業外収益		
受取利息	4	30
受取配当金	52	52
その他	29	20
営業外収益合計	86	103
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	487	219
その他	51	63
営業外費用合計	540	284
経常利益	7,792	5,165
特別利益		
関係会社株式売却益	8	749
その他	40	166
特別利益合計	48	916
特別損失		
移転費用	65	322
減損損失	576	193
その他	64	145
特別損失合計	706	661
税金等調整前四半期純利益	7,134	5,420
法人税、住民税及び事業税	3,574	3,457
法人税等調整額	243	424
法人税等合計	3,818	3,881
四半期純利益	3,316	1,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	954	622
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,361	916

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	3,316	1,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,487	△2,193
為替換算調整勘定	△32	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△4
その他の包括利益合計	1,457	△2,263
四半期包括利益	4,773	△725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,792	△1,204
非支配株主に係る四半期包括利益	980	479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,741	33,603	54,105	835	3,629	97,914	—	97,914
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,642	124	3,178	—	417	5,363	△5,363	—
計	7,384	33,727	57,284	835	4,046	103,277	△5,363	97,914
セグメント利益又は損失 (△)	△3,298	5,640	5,484	510	554	8,890	△644	8,246

(注)セグメント利益の調整額△644百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	7,362	36,246	59,141	3,895	4,208	110,855	—	110,855
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,166	116	3,698	—	374	6,355	△6,355	—
計	9,528	36,363	62,840	3,895	4,583	117,211	△6,355	110,855
セグメント利益又は損失 (△)	△4,991	3,193	4,543	3,396	27	6,170	△823	5,346

(注)セグメント利益の調整額△823百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。